

基幹水利施設ストックマネジメント事業 について研修会を実施しました。

鹿行農林事務所土地改良部門では、9月10日(木)に、十番用排水機場（潮来市潮来地内）において、職員の技術力向上を目的とした基幹水利施設ストックマネジメント事業の機能診断についての研修会を行いました。

本事業は、現在稼働している農業水利施設（ポンプ場など）を有効利用するための事業になります。現在、施設がどの程度劣化しているのかを調べ、その診断結果を基に、施設の機能を維持するための計画（機能保全計画）を策定します。また、計画に基づく対策工事等を一体的に行うことも事業に含まれます。機能診断の結果から機能保全計画を策定し、その対策工事を行う一連の手法が、ストックマネジメントになります。

同事業を実施することで農業水利施設の長寿命化や、施設の使用期間中の経費を削減できるなど、長期的に施設を有効利用することが可能になることから、本県でも農業水利施設を対象としたストックマネジメント事業の推進に力をいれて取り組んでいます。

今回の研修では、潮来市の十番排水機場にて作業を行っているNTCコンサルタンツ株の専門技術者の方から、機能診断の重要性や、機能診断をどのように進めていくのか、実際に診断に利用しているファイバースコープ等の機器を用いて説明していただきました。



↑ 機能診断の実施方法についての説明を熱心に聴講する様子